

令和3年度 意見交換会事例集

令和4年3月

やまぐち食の安心・安全推進協議会

目 次

本事例集の趣旨	…… 1
意見交換会の種類(例)	…… 1
意見交換会の開催の流れ(例)	…… 2
令和3年度の意見交換会（まとめ）	…… 5
令和3年度の意見交換会（個別事例）	…… 6

本事例集の趣旨

本事例集は、本協議会が今年度開催した意見交換会の状況を取りまとめたもので、今後の意見交換会開催の参考とすることを目的として作成しています。

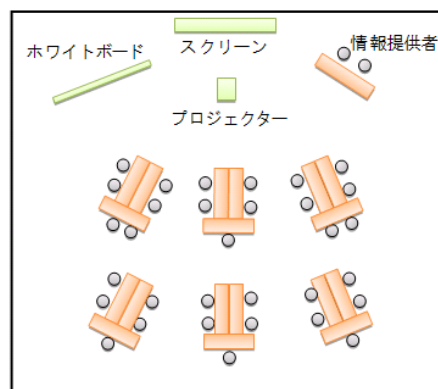
意見交換会の種類（例）

1 ワークショップ形式

参加者は情報提供を受けた後、グループ内で意見交換・討議を行い、その後、グループ発表、全体での意見交換を行い、知識・理解を深める。
(各グループに討議の進行役(ファシリテーター)を配置することが望ましい)

【プログラム例（所要時間：3時間30分）】

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション・アイスブレイク※
0:15	情報提供（50分程度）
1:05	グループワーク（60分程度） （グループ内で意見交換・討議し、グループの考えや質問を模造紙にまとめる。）
2:05	休憩
2:15	グループ発表（20分程度）
2:35	全体での意見交換（50分程度） （グループ発表の内容及び質問について、情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。）
3:25	アンケート記入・閉会



〈会場配置例〉

※アイスブレイク

氷を溶かすように、参加者の緊張感を和らげて、話しやすい雰囲気を作るためなどに行うもので、ゲーム形式など様々な手法がある。

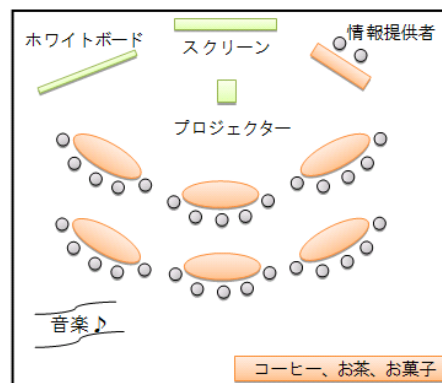
2 サイエンスカフェ及びセミナー形式

気軽な雰囲気の中で、専門家などがなるべく専門用語を使わないで情報提供を行い、参加者は質問カードなどを用いて質問や意見を自由に出し、情報提供者・参加者間で相互に意見交換しながら、知識や視野を広げる。

※参加者が茶菓を喫食しながら行うものをサイエンスカフェ、茶菓の提供を行わないものをセミナー方式とする

【プログラム例（所要時間：2時間）】

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション
0:10	情報提供（45分程度）
0:55	質問カード記入・休憩
1:10	意見交換（45分程度） （最初に質問カードの内容について情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。）
1:55	アンケート記入・閉会



〈サイエンスカフェ会場配置例〉

意見交換会の開催の流れ（例）

◆事前準備

- 1 開催希望団体は、意見交換会開催希望連絡票（別紙1）を生活衛生課に提出する。
 （ ・ 開催希望日の概ね2か月前までに提出すること。
 ・ 未定の項目は空欄で提出し、必要に応じて生活衛生課に相談する。）
- 2 生活衛生課は、開催希望団体と日程等を調整し、内容を決定する。
 （参加人数が少ない場合は、参加者の公募を検討する。）
- 3 開催の3日前までの参加人数がほぼ決定した時点で、開催希望団体は参加人数を生活衛生課に連絡する。
 （ワークショップの場合は、グループワーク班編制表（別紙2）により班編成を行い、ファシリテーターを設置する場合は、選定する。）

◆開催当日

- 1 開始1時間～15分前から会場設営を開始する。
 （参加者が多い場合や会場が広い場合などには、マイクを使用することが望ましい。）
- 2 概ね開始30分前から参加者の受付を開始する。
 （ ・ ファシリテーターを置く場合、打ち合わせを実施する。
 ・ サイエンスカフェ方式の場合、開始までに参加者に飲み物等の提供を行う。）

◆準備品について

開催当日に、必要に応じて以下の物を準備する。

準備品	数	準備する者
<input type="checkbox"/> パソコン	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
<input type="checkbox"/> プロジェクター	1	
<input type="checkbox"/> スクリーン	1	
<input type="checkbox"/> 延長コード	1	
<input type="checkbox"/> マイク	2	開催希望団体
<input type="checkbox"/> ホワイトボード	1	
<input type="checkbox"/> 配布資料	参加人数分	生活衛生課もしくは開催希望団体
<input type="checkbox"/> ワークショップの場合		
模造紙	グループ数+ α	生活衛生課もしくは開催希望団体
カラーマジック	グループ数+ α	
大判ポストイット	グループ数+ α	
セロテープ	グループ数+ α	
サインペン	参加人数分	
<input type="checkbox"/> サイエンスカフェの場合		開催希望団体
茶菓	参加人数分	
質問用紙	参加人数分×3枚程度	生活衛生課もしくは開催希望団体
サインペン	参加人数分	
セロテープ	1	

(FAX : 0 8 3 - 9 3 3 - 3 0 7 9 メール : a15300@pref.yamaguchi.lg.jp)

意見交換会開催希望連絡票

団体・機関名	
担当者	
電話、FAX 番号	
メールアドレス	

○意見交換会の開催希望について

開催日時	第1希望 令和 年 月 日 (: ~ :) 第2希望 令和 年 月 日 (: ~ :) 第3希望 令和 年 月 日 (: ~ :)
場所	○開催希望施設を記載ください。施設が未定の場合は、市町単位で記載ください。 ()
テーマ	○いずれかを選択ください。 微生物による食中毒の予防 (ノロウイルス、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌、その他 ()) 食品表示、食品添加物、食品中の放射性物質、残留農薬、輸入食品、 遺伝子組換え食品、BSE(牛海綿状脳症)、HACCP、最近の食に関する話題、 一問一答(事前質問に回答)、事業者の自主的な取組(事業者との意見交換)、 その他 ()
形式	○いずれかを選択ください。 ワークショップ、サイエンスカフェ、セミナー、事業所見学、 その他 ()
参加人数	○貴団体・機関からの参加人数を記載ください。 (人) ○参加者の公募について、記載してください。 公募する (人程度)、公募しない
情報提供者	○希望があれば記載ください。 ()
その他 (要望等)	

グループワーク班編制表

グループ	ファシリテーター	グループメンバー
A		
B		
C		
D		
E		

・各グループの人数は、5～6人程度が望ましい。

令和3年度の意見交換会（まとめ）

＜令和3年度の開催結果＞

意見交換会の開催回数	4回
参加人数	94人

＜意見交換会一覧＞

No	形式	開催日	場所	主たる共催団体	テーマ	参加人数
1	パネルディスカッション	11月11日	山口市	(一社)山口県食品衛生協会	HACCP等	52
2	セミナー	11月22日	岩国市	食の安心モニター 食の安心コミュニティ活動リーダー	食品表示、 HACCP	14
3		11月26日	下関市			11
4		11月30日	山口市			17

意見交換会事例（セミナー形式）

No. 1

形式	セミナー形式
開催日時	① 令和3年11月22日（月） 14:00～15:30 ② 令和3年11月26日（金） 〃 ③ 令和3年11月30日（火） 〃
場所	① 岩国総合庁舎 2階 共用第2会議室 ② 下関市生涯学習プラザ 2階 学習室1 ③ 山口県庁 1階 視聴覚室
共催団体	食の安心モニター 食の安心コミュニティ活動リーダー
テーマ	食品表示について 衛生管理について
情報提供者	食の安心・安全相談員 中原 繁 生活衛生課 主査 福本寛之、主任 岡村 文子
参加人数	① 14名 ② 11名 ③ 17名 (食の安心モニター、食の安心コミュニティ活動リーダー)
プログラム	14:00 開会あいさつ 講義 質疑応答、アンケート記入 15:30頃 閉会
準備	生活衛生課 ・参加者募集 ・会場準備 ・備品準備（プロジェクター、スクリーン 等）
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品表示の歴史的な流れを改めて整理できた。工場見学等のない現在、HACCPについて学べたのは、よかった。 ・HACCPの意味と成り立ちが良く分かりました。言葉を聞いただけでは通り過ぎる事も、関連を理解することで興味深い事柄に成りました。 ・表示をアップする作業・工程は大変だと思います。企業、研究室がどれだけの苦勞をしているかの説明があれば、よりていねいに消費者は表示を見ることができると思います。

意見交換会事例(パネルディスカッション)

No. 2

形式	パネルディスカッション
開催日時	令和3年11月11日(木) 13:30~16:00
場所	山口市民会館
主催団体	(一社)山口県食品衛生協会
テーマ	HACCP、自主回収、食品表示、食中毒予防 等
コーディネーター	山口県立大学看護栄養学部栄養学科教授 人見英里氏
パネリスト	○消費者代表 山口県地域消費者団体連絡協議会 山口県消費者団体連絡協議会 ○事業者 (一社)山口県食品衛生協会 ○行政 山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	52人